

小学校初任者研修の手引き等における学校給食・給食指導の扱い

鈴木洋子

(奈良教育大学 家庭科教育講座 (家庭科教育))

Treatment of school lunch and school lunch instruction in the guidance for initial training
for newly appointed primary teachers, etc.

Yoko SUZUKI

(Department of Home Economics Education, Nara University of Education)

要旨：小学校初任者研修における学校給食ならびに給食指導の扱いを、初任者研修用の手引き等の記述内容から調べた。その結果、「初任者研修用の手引き」においては、学級経営の視点から給食時の指導が重要であることが主に記述されていた。「学校給食」や「食育」の手引きについては、文部科学省の「食に関する指導の手引き」を参考に作成されている傾向にあることがわかった。初任者研修において、学校給食や給食指導の扱いが極めて希薄である実態を表出することができた。

キーワード：学校給食 school lunch
給食指導 school lunch instruction
小学校教員 primary school teacher
初任者研修 initial training for newly appointed teachers

1. はじめに

給食の時間が食育の絶好な機会であり、食育の推進にとって重要であることが認識されているのは自明であるが、教員養成段階における学校給食に関する学びは保障されていない。教員一人ひとりに給食指導に必要な知識の習得と指導力の形成を図ることが、延いては食育の充実と継続に繋がると捉えている。しかし、実際には、特別活動に関する科目で学校給食を取り入れている大学は微少であり¹⁾、教育実習関連科目においても学校給食ならびに給食指導を扱っている大学や、教育実習の手引き(ハンドブック)に給食指導を記載している大学は同様に少ない現状にある²⁾。

教員養成段階における学校給食に関する指導の構想を提案し、その重要性を提言するうえで、教員養成段階での扱いと同様に、初任者研修中における給食指導に関する扱いの有無を把握しておく必要があることから、本報においては、初任者研修における学校給食ならびに給食指導の扱いを、研修用の手引きやハンドブック等の記述内容から調べることにした。

2. 研究方法

初任者研修における学校給食・給食指導の扱いを調べるために、初任者研修の手引き・ハンドブック(以下、手引きと記す。)を「教育委員会」「初任者研修」「手引き」「ハンドブック」「給食」をキーワードにしてインターネットで検索した。この段階において、初任者研修の手引きのほかに学校給食関連の手引きが抽出されたことから、次の段階として「学校給食」「指導」「手引き」で検索した。なお、検索エンジンには「Google」を使用した。検索期間は、2016年10月から2017年8月である。

手引きへの記述量が多かった5件の作成機関に、「手引きを作成に至った経緯」、「内容の設定にあたり配慮した点」、「初任者研修での使用の効果」等の質問状を郵送した。回答が得られたのは2件であった。質問内容に作成機関ではなく執筆者ではないと回答できない質問等があったため、返答が少なくなったと推察した。

3. 結果及び考察

3. 1、初任者研修の手引きにおける学校給食・給食指導の扱い

初任者研修の手引きをインターネットで検索した結果、13都府県1市の合計14件の教育委員会による研修

の手引きを抽出することができた。そのうち学校給食ならびに給食指導の扱いについて、A4 用紙 1 頁以上の記述があったのは 1 府 1 県 1 市の 3 件であった。残りの 11 件のうち 3 件については、「学校給食が特別活動に含まれることが説明されているが、具体的な内容は記述されていない。」「健康教育・安全教育の項で学校給食におけるアレルギー疾患等の関係資料が紹介されている。」「学校給食を『生きた教材』として活用し、食に関する指導を行うことができる。」のように学校給食及び給食指導の扱いが皆無でないことは伺えたが、残りの 8 件については、例えば、不登校児のサインの例として「休み時間や給食時、他の子と交わらない、元気がない」の記述のように、学校給食や給食指導に関する具体的な内容ではなかった。

1 頁以上の記述があった 3 件を表 1 に示した。表中の No1 の Y 市教育委員会の記述は 4 頁分で、4 項目の構成であった。そのうち給食に直接かかわるのは、「(4) 市立中学校、高等学校での昼食の指導」を除く 3 項目で、記述の多くは学級担任に関連した内容であった。「(1) 給食指導時の安全・衛生」の項目においては、給食当番の子どもの健康チェックを行うことや、食缶を運搬する際に、廊下の曲がり角や階段では一旦停止して安全を確認させるなど、きめ細かな内容が示されていた。「(3) 食事についての望ましい習慣の育成」の項においては、「担任が子どもたちのグループに加わって食事をし、会話から多くの情報を得るようにする。」の内容が記されていた。

No2 の O 府教育委員会の記述で、直接、学校給食にかかわる項目は 2 頁分で、「(2) 給食の時間における学級担任の役割」は、0.5 頁強であった。「給食が重要な学習活動であり、学級担任が給食指導を行うこと、児童生徒のグループに入り食事をすることを通して児童生徒の理解を深め、学級全体の好ましい人間関係の育成等に努めること」などが記述されていた。安全・衛生、アレルギーにもふれてはいるが、指導の必要性を促す程度の内容であった。

No3 の N 県立教育研究所による記述は 3.5 頁分で、「(1) 学校の教育活動における給食指導の位置付け」では 0.5 頁程度を使って、学習指導要領の解説書に記載の教育課程における位置づけや、学校給食法第 1 条による学校給食の目標が掲載されていた。「(2) 給食の時間における食に関する指導」においては、先の 2 件と同様に、児童生徒のグループに入って食事をすることの大切さが記述されていた。「(2) 給食の時間における食に関する指導」の中に示された食物アレルギーへの対応については 1 頁が使われ、N 県教育委員会が平成 28 年に作成した「学校給食におけるアレルギー疾患対応指針」からの抜粋が掲載されていた。食物アレルギーへの対応については、平成 27 年の文部科学省の「学校給食における食物アレルギー対応指針」の発表を受けて、各自治体(教育委員会)等で、独自の手引きやマニュアルが作成され

ている。これらの内容のほかに、文部科学省による「食に関する手引き」に掲載の「給食時間における食に関する指導内容と食に関する指導の目標」の表も掲載されていた。

以上の結果から、3 件の全てに給食時に学級担任が児童生徒のグループに入って食事を共にして会話を交わすことにより、教科指導の時間では分からない児童生徒の側面の理解に努めることの重要性が記されていた。

表 1 初任者研修の手引きにおける学校給食・給食指導の扱い

No	発行機関	冊子名	学校給食・給食指導に関する内容
1	Y市教育委員会	H27年度初任者研修テキスト	第Ⅶ章 学校健康教育(学校保健・学校安全・学校給食)をすすめるために 4 学校給食指導・昼食指導 (1)給食指導時の安全・衛生 (2)給食当番及び食準備の協力 (3)食事について望ましい習慣の育成 (4)市立中学校、高等学校での昼食指導
2	O府教育委員会	平成27年度 小・中・高等・支援学校 初任者研修の手引 2015-16	[2]指導にかかわること 15.学校給食 (1)学校給食の意義 (2)給食の時間における学級担任の役割 (3)食に関する指導 (4)栄養教諭制度の創設と、学校栄養職員・栄養教諭の役割
3	N県立教育研究所	教職員のための研修ハンドブック 平成29年度(2017年度)新規採用者バージョン	第6章 健康教育 4 学校給食 (1)学校の教育活動における給食指導の位置付け (2)給食の時間における食に関する指導

3. 2 学校給食関連の手引きにおける学校給食・給食指導の扱い

初任者研修の手引きにおける学校給食の扱いを検索した段階において、学校給食や食育関連の手引きも抽出されたことから、これらをまとめて表 2 に「初任者研修の手引き以外の学校給食・給食指導を扱った手引き」として示した。全 13 件のうち学校給食に関する記述があったのは 11 件で、そのうち 8 件については、「給食指導は学級担任の仕事である」の内容が記述されていた。

これらの 8 件から No8 の「食事マナー指導の手引き」を除いた 7 件について、「項目の構成(頁数)」、「給食のための頁数」等を、「学校給食または食育等の手引きにおける給食指導の扱いの概要」として表 3 に示した。7 件のうち「給食の手引き」の類が 4 件で、「食育の手引き」については 2 件、「学級経営」が 1 件であった。比較的に多くの頁数の記述があったのは No1 と No2 で、これらには新任教員向けの項目が設けられていた点が、他のハンドブックの構成とは大きく異なっていた。No3 から No7 の 5 件については、頁数は 8 頁から 2 頁と記述量は異な

るが、いずれにおいても給食時間の指導の内容が扱われていた。

表4は、表3のNo1の「学校給食」の手引きの「1. 基礎編～学校給食は、学校教育の一貫～」と「2. 実践編～新任の先生のために～」の具体的な内容を示したものである。Q&A方式になっており、場面に応じた記述に工夫のあとが見受けられる。作成機関に「作成に至った経緯」と、「内容の設定にあたり配慮した点」等について書面で質問したところ以下の回答を書面で得ることができた（下線は著者による。）。

・作成に至った経緯：年々、新規採用者が増え、経験年数の少ない教員が増える中、教科のスキルアップには研修会もたくさん用意されているが、給食指導等の学級指導については十分な周知とはいえず、ハンドブックを作ることで、給食指導の大切さを伝えていきたいと作成した。

・内容の設定にあたり配慮した点：給食指導を行う際の課題について、研究部員を中心に話し合い、また、伝え方もあまり難しくならないように、QandAという形をとるようにした。

以上の回答から、給食指導の重要性に対する認識が不足している現状を垣間見ることができた。

表5に、表3の手引きの記述内容をマトリックスで示した。表中の上段の「□」印は、文部科学省の「食に関する指導の手引き」³⁾に記述されている内容である。また、表中の「◎」印は、文部科学省の「食に関する指導の手引き」を参考にしたと思われる記述である。中にはイラストも似通ったものが使用されているものもあり、多くの手引きが文部科学省の「食に関する指導の手引き」を参考に作成されている傾向にあることがわかった。7件の全ての手引きに記述されていた内容は「給食当番への指導」「手洗い」であった。ついで「食事への感謝」が6件、「配膳方法」「食べ方（姿勢、咀嚼、交互食べ他）」「後片付け」が5件と比較的多く扱われていた内容である。「時間と配膳・会食・後片付けの目安時間」と「配膳台の使い方」は、文部科学省の「食に関する指導の手引き」では扱われていない内容ではあるが、2件での記述が見られた。「食に関する指導の手引き」にイラスト入りで記載のある「窒息事故の防止」については1件の扱いであった。

以上の結果より、各都道府県の手引きは、文部科学省の「食に関する指導の手引き」を参考に作成されている傾向にあることがわかった。

これらの発行機関に初任者研修における手引きの利用状況を質問したところ、No1については、「毎年夏季休業中に行われている《学習指導基本研修会》の中で本書を使って研修を行っている。ただし、教師の参加はまだ少なく、〇市全体を見ましても、給食指導の取組に課題がある状況もあります。」の回答が得られた。また、No4については、「教員全体を対象にした研修ではなく、

栄養教諭を対象にした研修でのみの使用である。さらに、全ての学校とは言いきれないが、栄養教員が各学校において手引きを使用して研修を行うこともある。」との回答であった。

表2 初任者研修の手引き以外の学校給食・給食指導を扱った手引き

No	発行機関	冊子名	学校給食の記述の有無	給食指導が学級担任の仕事であることの記述の有無
1	〇市小学校教育研究会 学校給食食育部	給食指導ハンドブック 平成25年度改訂版	有	有
2	A県教育委員会 A県学校給食会	学校給食の管理と指導 七訂版 平成27年3月	有	有
3	H教育委員会	学校における食育の推進 第5章給食の時間における食に関する指導 平成20年3月	有	有
4	N県教育委員会	学校給食の手引き 平成23年3月	有	有
5	F県教育委員会 監修 F県学校給食会 発行	学校給食の手引き 食育 の充実のために 平成23年3月	有	有
6	S県教育局東部 教育事務所	若い先生のための学級経営講座―月別編― 7月② 給食と清掃の指導 ～学校生活の中で恒常的に 行う教育活動～ (2016年3月ホームページに掲載)	有	有
7	Y県教育委員会	食に関する指導の手引 ～学校全体で取り組む食育の推進～ 平成28年3月	有	有
8	U市教育委員会	食事マナー指導に関する 手引き 平成24年3月	有	有
9	M県教育委員会 M県学校給食会	食に関する指導・学校給食 の手引き 平成26年3月改訂	有	無
10	M2県教育委員会	食に関する指導の手引き 平成22年3月	有	無
11	N2県教育委員会	学校給食の手引 運営管理編 平成22年3月	有	無
12	M3県教育委員会	〇食で育む、元気なみえ の子基礎編 改訂版 平成28年3月 〇食で育む、元気なみえ の子 実践編 平成26年3月	無(ホームページ上には、学校給食の項目有)	無
13	Y2県教育委員会	学校における食育推進の ための指導手引き第一次 改訂版 平成25年3月	無(教科等での指導事例が中心)	—

表3 学校給食または食育等の手引きにおける給食指導の扱いの概要

No	発行機関	手引きの種類	項目の構成(頁数)	給食のための頁数
1	〇市小学校教育研究会 学校給食食育部	学校給食	○基礎編 ～学校給食は、学校教育の一環～(23頁) ○実践編 ～新任の先生のために～(26頁)	49
2	A県教育委員会 A県学校給食会	学校給食	○給食指導の留意点(1頁) ・準備・会食・後片付け ○給食の時間における担任としての基本事項(15頁)	16
3	H教育委員会	食育	○給食の時間における食に関する指導の内容(4頁) ○給食指導の内容(4頁)	8
4	N県教育委員会	学校給食	○給食指導の特質(0.5頁) ○給食の時間における給食指導の展開の仕方(5頁) ・給食の時間における指導上の留意点 ・給食時間の指導の流れ ・給食当番や係りの活動の工夫 ・給食の時間におけるグループづくりの工夫	5.5
5	F県教育委員会監修 F県学校給食会発行	学校給食	○給食指導のねらい ○給食指導の内容	4
6	S県教育局東部教育事務所	学級経営	○給食時に指導する基本的な内容 ○給食当番の指導 ○毅然とした態度で指導すべきこと	2
7	Y県教育委員会	食育	○給食時間の指導(2頁) ・給食時間における食に関する指導(実践3例の紹介) ・給食指導	2

表5 初任者研修の手引き以外で学校給食・給食指導を扱った手引きの記述内容

No	給食当番への指導	手洗い	食事への感謝	配膳方法	食べ方(姿勢、咀嚼、交互食(他))	後片付け	給食当番以外の子どもへの指導	食器の並べ方	食事マナー	はしの使い方	食事環境の整備と工夫(交流給食他)	健康状態の把握	個別的な指導	会食の雰囲気づくり	時間と配膳・会食・後片付けの目安時間	配膳台の使い方	窒息事故の防止
文科省「食に関する指導の手引き」	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□			□
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	
2	◎	◎	◎	◎	◎		◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
3	◎	◎	◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎					
4	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○		○		
5	◎	◎	○		◎			◎		○	○			○			
6	○	○	○	○		○							○				
7	◎	◎		◎		◎		○				◎					
合計件数	7	7	6	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	3	3	2	1

◎：文部科学省、食に関する指導の手引きを参考に記述。
＊：表中のNoは、表3に同じ。

表4 〇市小学校教育研究会学校給食食育部作成の「学校給食」の手引きの内容

	I. 学校給食指導編(給食指導の部)
	1. 基礎編 ～学校給食は、学校教育の一環～
Q1	学校給食の役割・目標
Q2	給食指導の動き
Q3	学校給食のねらい
Q4	給食の時間における給食指導のねらいと内容
Q5	給食の年間指導計画についての例
Q6	月別の具体的指導内容の例
Q7	各学年(低中高)月別指導内容の例
	2. 実践編 ～新任の先生のために～
Q1	給食指導中の担任のあり方
Q2	給食当番とは
Q3	給食当番をどう決める。(当番表は)
Q4	当番でない子はどうする
Q5	食事環境の工夫
Q6	給食の形態の工夫
Q7	机の配置を変えて楽しく
Q8	メンバーを変えて楽しく
Q9	配膳方法を工夫して
Q10	バイキングふう給食を試みて①
Q11	バイキングふう給食を試みて②
Q12	新1年生に、紙芝居を使って指導を
Q13	すべて一方通行で
Q14	給食時計で、時間を意識させて
Q15	好ききらいの多い子の実態は(かめない子には)
Q16	好ききらいの多い子には
Q17	食べる量の少ない子には
Q18	時間内に食べ終わらない子には
Q19	食事マナーが好ましくない子には
Q20	早く食べ終わった子には
Q21	肥満している子には
Q22	アレルギーの子には
Q23	アレルギーで牛乳を飲めない子をみて、飲まなかった子には
Q24	残菜をへらすには①
Q25	残菜をへらすには②「いただきます」の意味
Q26	はしが正しく使えるように

4. まとめ

教員一人ひとりに給食指導に必要な指導力の形成を図ることが、延いては食育の充実と継続に繋がるとの観点から、各都道府県等の教育委員会が作成する「初任者研修用の手引き」及び、「学校給食」や「食育」に関する手引きにおける学校給食ならびに給食指導の扱いを調べた。その結果、「初任者研修用の手引き」においては、学級経営の視点から給食時の指導が重要であることが主に記述されていた。「学校給食」や「食育」に関する手引きについては、文部科学省の「食に関する指導の手引き」を参考に作成されている傾向にあることがわかった。今回の調査においては、インターネット検索で抽出された数件の手引きしか分析対象にしていなかったので、これ

らは氷山の一角に過ぎないが、初任者研修において、学校給食や給食指導の扱いが極めて希薄である実態を表出することができた。

参考文献

- 1) 鈴木洋子 (2014), 科学研究費助成事業研究成果報告書, 小学校教員養成段階における給食指導を扱った授業モデルの開発
<https://kaken.nii.ac.jp/ja/file/KAKENHI->

PROJECT-24531201/24531201seika.pdf

- 2) 鈴木洋子 (2016), 奈良教育大学次世代教員養成センター研究紀要, 第3号, 203-207
- 3) 文部科学省 (2010), 食に関する指導の手引きー第一次改訂ー, pp 200-216

本研究の調査にご協力下さいました皆様に、心より感謝申し上げます。

(本研究は JSPS 科研費 JP15K04500 の助成による。)